

名称等	古文書解読入門講座の開催
実施日時	令和元年9月7日(土曜日) 9時30分～11時30分
場所	沼津市明治史料館 2階 講座室 沼津市西熊堂 372-1
担当	沼津市教育委員会事務局 文化振興課 沼津市明治史料館
直通 055-923-3335 FAX 055-925-3018	

1 内容

初めて古文書に触れる歴史ファンを対象に、親しみやすい郷土の資料をテキストとして、簡単な古文書を読めるようになるための入門講座を開催します。

江戸時代の沼津地域の地方文書*(じかたもんじょ)をテキストにしますので、江戸時代の沼津の様子や暮らし、暦や干支などがわかるようになります。

* 地方文書:江戸時代、村において行政上の必要から作成された公的な文書や記録

日時: 9月7日、14日、21日、28日

10月5日

11月2日、9日、16日、23日、30日 全10回

各回とも土曜日の午前9時30分～11時30分

2 目的・理由

- ・自分の手で歴史をひもとく楽しさを味わいながら、古文書の文化的な価値を知るきっかけとします。
- ・講座を終了した方々が自主講座(初級講座・五期の会)を作り、毎月勉強を続けています。
- ・古文書の読み手として、博物館での解読ボランティアとして活躍されることも期待しています。

3 経緯・経過

開館翌年の昭和60年から毎年5回シリーズで開催してきましたが、「もう少し勉強したい」とのご希望にお答えして、今年は全10回として、より丁寧により深く勉強していただければと考えています。

4 申込方法

令和元年8月10日(土)から電話または直接 先着30名
受講料は無料です。

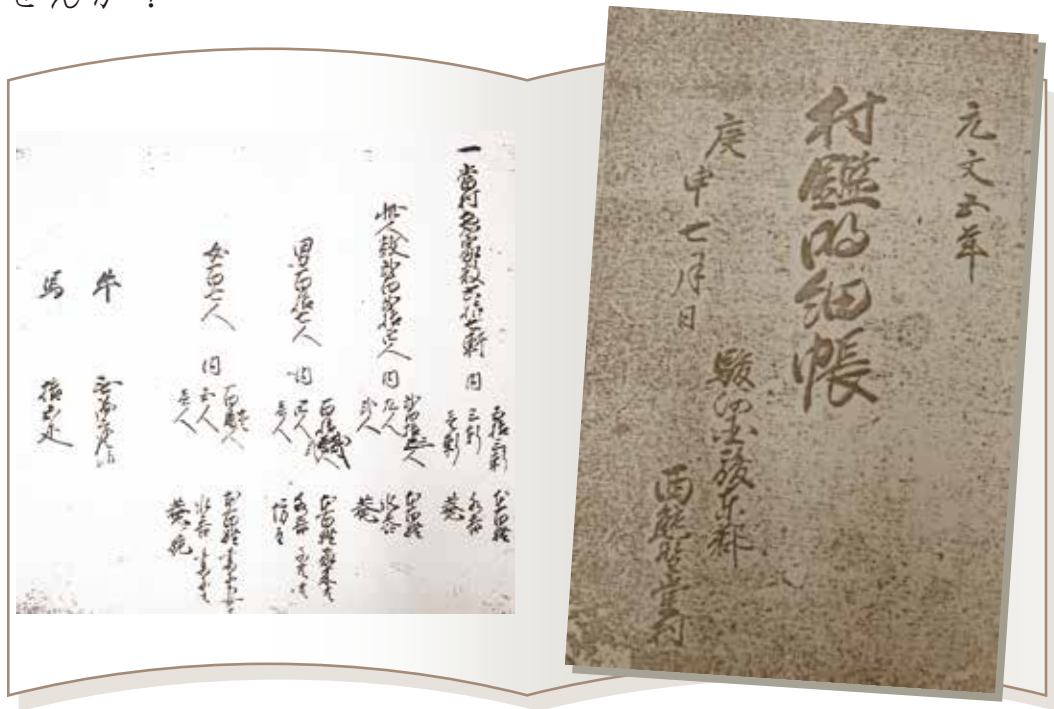
5 昨年の様子



古文書入門講座開講のお知らせ

はじめて古文書に触れたいと思っている方に、江戸時代の地元の文書などをテキストにして、くずし字などの読解力を身につけていただける講座です。

古文書を通して江戸時代の沼津の歴史や暦・元号などに触れてみませんか？



- 日時 9月7日、14日、21日、28日、10月5日
11月2日、9日、16日、23日、30日
各回とも土曜日（全10回）
9時30分 から 11時30分
- 場所 明治史料館 2階講座室
- 受講料 無料
- 講師 大庭 晃（明治史料館非常勤職員）
- 持ち物 筆記用具、辞書（くずし字辞典など持っている人）
- 受付 8月10日（土）9時から
電話、または館へ直接お申込み下さい。
- 定員 30名（定員になり次第締め切ります）

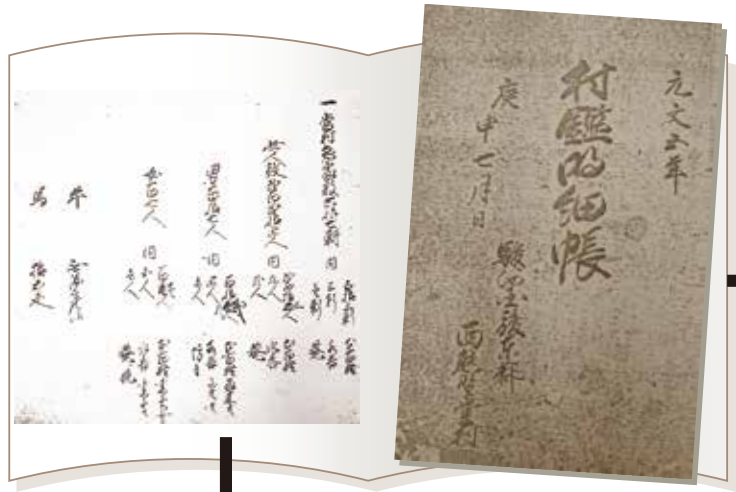


沼津市明治史料館

〒410-0051 沼津市西熊堂 372-1 電話 055-923-3335

たとえば

ほんの一部ですが **こんなことがわかります！**



元文五年
 庚申七月日
 駿河国駿東郡
 西熊堂村
村鑑明細帳

元文5年は西暦1740年

十干十二支

(じゅつかんじゅうにし) でいうと、
庚 (かのえ)
申 (さる)
の年だというのがわかります。

十二支は知ってるけど
十干って何？

*十干十二支で有名なのが

「丙午 (ひのえうま)」

この年は災いが多く、丙午生まれの
女性は夫を殺すという迷信があります。

この頃の西熊堂は、
当然のことながら沼津市では
なくて、駿東郡西熊堂村です。

村鑑 (むらかがみ) 明細帳

村から領主に提出した村のことを詳しく書いた
書類のこと。

- 村高 (むらだか) — 米などの収穫量
- 反別 (たんべつ) — 田畑の広さや質
- 家数 — 一家の軒数
- 人別 (にんべつ) — 一人の数や身分
などを書き付けたもので、時代や村により牛や
馬の数、橋や鉄砲の数、医者や寺社の数など、
細かく書いたものもあります。
当時の村の様子が窺える貴重な資料です。

西熊堂村の家数は全部で67軒

内訳 — 53軒 本百姓
(自分の土地を持っている)
3軒 水呑百姓
(自分の土地を持っていない)
1軒 庵
(お坊様とその世話をする
人がいたようです)

男女別で見ると 男性117人
女性107人

合計224人の住人がいたことがわかります。
また、牛はいないけれど、馬は15頭いたこ
とも書かれています。

壱 (一)、弍 (二)、拾 (十)
なんて、祝儀袋などを書くとき
くらいしか使いませんよね！

馬	牛	女百七人	男百拾七人	此人數弍百弍拾四人	一当村物家數六拾七軒
拾五疋	無御座候	内 五人	内 四人	内 弍人	内 三軒
		百老人	百拾弍人	弍百拾三人	五拾三軒
		壱人	坊主	庵	水呑 本百姓
		本百姓妻子下女共	本百姓家来共	本百姓	水呑 本百姓
		庵ノ姥	水呑妻子共	水呑	庵 水呑